

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 28 年 8 月 12 日	
所属部局・職	アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程(5年一貫制)学生
氏名	大塚亮真

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
新潟県中頸城郡妙高高原町杉ノ沢村笹ヶ峰	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
笹ヶ峰実習	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
平成 28 年 8 月 1 日 ~ 平成 28 年 8 月 4 日 (4日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学笹ヶ峰ヒュッテ 杉山先生	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>今回私は PWS の笹ヶ峰実習へ参加するため、新潟県の妙高市の京大ヒュッテを訪れた。この実習を通じて様々なサバイバル技術と実用的な知識を学んだ。この経験はフィールドでの調査に大いに役立てたい。</p> <p>【日程】</p> <p>8月1日：京都駅→名古屋駅→長野駅→妙高高原駅→京大ヒュッテ/散策、植生観察</p> <p>8月2日：涸沢踏査/登山ルート確認</p> <p>8月3日：火打ち山登山</p> <p>8月4日：掃除、片付け、ビバーク講習/京大ヒュッテ→妙高高原駅→長野駅→名古屋駅→京都駅</p> <p>【1日目】</p> <p>京大ヒュッテに到着してすぐに、ヒュッテ周辺の散策と植生観察に出かけた。牧場や鳥居を見たり、ものすごく冷たい水に足をつけたりした。夕飯を食べた後は、京大ヒュッテと本実習について簡単なレクチャーを受け、2万5千分の1の地図をもらい、その読み方とコンパスの使い方について学んだ。また磁北とのズレがおおよそ7°であったので、それに合わせて地図に線を引いていった。コンパスの使用方法については実習参加者で経験豊富なIさんが丁寧に教えてくれたので、きわめて明快になった。また兼ねてから気になっていた地図を綺麗にたたむ方法も学ぶことが出来た。</p> <p>【2日目】</p> <p>朝起きて朝食を食べて涸沢踏査に出かけた。野バラなどに気をつけながら藪漕ぎをして、沢に降りてから沢登りをした。ある程度登ったところで、雨が降りだしそうな雲の状態を見て下山を決めたが、結局下山中はほとんど雨に降られることは無かった。沢では蝶が良く観察出来る場所がいくつかあり、なんだか立ち止まって私を含む数人のカメラ小僧/少女たちが撮影に夢中になった。雨が降りそうで下山を決めたのに、蝶々の撮影は別問題というわけだ。コムラサキが糞に寄ってきているところを運良く撮影出来た。糞に集まるのはオスだけだというからたいへん興味深い。アサギマダラやサカハチチョウも良く観察できた。本実習中は花、蝶、トンボを撮影する機会が多く、その経験が私のマクロレンズ欲を大いに高めた。気づいたときにはもう遅いが、レンズ沼にずぶずぶとはまっている。私の調査地のブウィンディ原生国立公園は蝶の楽園としても有名であるため、今持っているレンズを手放してマクロレンズの購入にあてる計画を立てている。帰り道では実習参加者のうちの数名が地図とコンパスを持ってルートを探しながら先頭を歩いた。後ろの我々は間違った道へ進んだ時にとめることが役目であったが、先頭の人が優秀であったため活躍の機会はなかった。ヒュッテに戻り、昼食を済ませた後はロープワーク講習を受けた。ロープワークのなかでも基本中の基本だというエイトノットやダブルフィッシャーマンズノットを習得することが出来た。これらの技術は調査地のテン場でブルーシートを張るときや、洗濯物を干すときなどに役立つだろう。使わないとすぐに忘れてしまうので、ホームセンターで安いロープを購入し暇な時間に練習するようにしたい。夕飯を食べた後は、明日</p>	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p>	
<p>&lt;平成 26 年 5 月 28 日制定版&gt; 提出先: <a href="mailto:report@wildlife-science.org">report@wildlife-science.org</a></p>	

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

### 【3日目】

簡単な朝食をとり5:40ころに京大ヒュッテを出発し、火打山山頂を目指した。個人的には、フィールド調査の練習も兼ねて、GPSで登山ルート記録した。記録方法は時間記録で間隔は30秒ごとにしたが、カーブが急なところなどでは記録したルートと地図上の登山道がずれていたのもう少し間隔を短くしても良いだろう。山頂や休憩場所、水を汲める場所、景色が素晴らしかったところなどでポイントをとったので、冬の実習の際などになんらかの形で活用してみたい。植生観察をしたり昆虫観察をしたりしながらゆっくり進んだ(写真撮影でなかなか前に進まない?)ものの、山頂には11時前46分ころに到着し、おにぎりを食べて休息した。途中、人々の優しさに大いに助けられた出来事があったが今回はその詳細について記載することは控えたい。休憩中、近くの火山が活動している激しい音が聞こえてきた。一瞬の雲の晴れ間に立ち上る煙を見てきゅっと身のしまる思いをした。集合写真を撮ったのち12時34分に下山を開始、帰りはかなり良いペースで下り、17時23分ころに京大ヒュッテに戻ってきた。

### 【4日目】

朝起きて朝食(きのこパスタなど)をとり、京大ヒュッテで使用したシーツなどを洗濯した。そのあとヒュッテの南側でツェルト講習を受け、ツェルトの多様な使い方(テントとしての使用、雨具としての使用、物を運搬する、けが人を運ぶ、砂漠や雪山で水を得るなど)について学んだ。ヒュッテに戻り掃除や生ゴミの処理などをしてから、参加者それぞれが今回の笹ヶ峰実習に対する感想・コメントを述べ合った。最後に杉山先生から本実習を通じてのコメントをいただいたが、その中で『チームがよりうまく機能するように、あるいはより充実した食事が効率よく準備できるようにするために、人がやっていない自分の仕事を積極的に見つけて行動することの大切である』ことを伝えてくださった。たしかにその通りだと感銘を受けた。海外のフィールドでもこのことを実践できるよう日々意識してやっていきたい。



写真1. アサギマダラ



写真2. コムラサキ

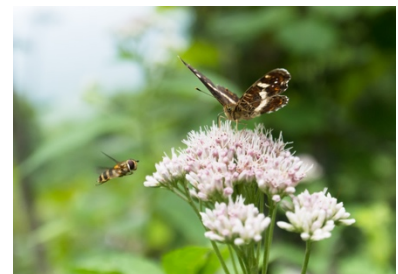


写真3. サカハチチョウ



写真4. ヒュッテからの眺め



写真5. 名所に記念撮影



写真6. 霧の中を進む



写真7. 天狗の庭で集合写真



写真8. ツェルト講習



写真9. 京大ヒュッテ

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



番外編 とても美味しかったハナビラタケ

6. その他 (特記事項など)

笹ヶ峰実習には参加するにあたり、ご支援いただいた PWS にたいへん感謝申し上げます。またお世話になりました杉山先生と一緒に実習に参加したみなさんに心より感謝致します。